造血器腫瘍に対する化学療法中の FN でのプレセプシンの動態（第 1 報）

◎坂西 清[1)]、馬場 満[1)]、小池 敦[1)]
新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院[1)]

（はじめに）プレセプシン（以下 PSP）は単球から産生されると考えられている新規敗血症マーカーである。発熱性好中球減少症（以下 FN）は、がん診療の合併症の 1 つであり、マネジメントを誤ると敗血症および臓器不全を引き起こす。今回、白血球数が減少している FN 時に PSP は如何なる動態を示し、造血器腫瘍に対する化学療法で有用か否かを検討し若干の知見を得たので報告する。

（対象と方法）2017 年 7 月～2018 年 8 月まで当院血液内科で造血器腫瘍に対し化学療法を施行された FN 患者を対象とし、①化学療法前，②FN 発症時，③FN 発症より 72-96 時間後のポイントで各時相、PSP，PCT，凝固関連項目、②FN 発症時は血液培養を追加し比較検討した。

（対象患者詳細）〇症例数 16 例（FN 発症は 10 例）〇性別男性 9 例，女性 7 例〇主病名：AML 6 例 NHL 2 例 ALL 1 例 BL 1 例〇FN の予後は全例治癒であった。

（測定項目）FDP，DD，TAT，PIC， t PAI-1，SF，ATⅢ，APTT，PT，Fbg，CRP，PCT，PSP，WBC，②の FN 発症時のみ血液培養

（結果）各項目の中央値の推移は、PSP と同じ動向を示したのは FDP であった。PSP と各項目の時相別の相関は、①化学療法前では DD，PT，CRP などの項目が有意ある相関となり、②FN 発症時では有意ある相関がとれた項目は無かった。③FN 発症 72-96h 後では PLT、α２ＰＩ－Ｐ複合体が有意ある相関となった。血液培養陽性群では時相②の FN 発症時で WBC が低値を示したにもかかわらず PSP は大きく上昇をした。また血液培養陰性群においても PSP は時相②の FN 時に大きく上昇し、体内の炎症を鋭敏にとらえていた。更に DIC スコアと PSP ・ PCT の相関比較では PSP が有意ある相関を示した。

（結語および考察）PSP は FN 時に鋭敏な動きを示し、敗血症予測ツールとして期待される。DIC スコアの相関では、PSP は優れた相関を示し DIC 発症予測マーカーとしても有用であると考えられた。FN 時に白血球が減少する中、PSP が如何に放出されているか未だ不明だが、今後、更に他項目と比較し、臓器由来、血液由来なのかを検討し、臨床的意義、有用性の有無を検討していきたい。